

USB 2.0 Memory Card READER

メモリーカードリーダー・
ユーザーズマニュアル

LMC-CA84U2

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	4
ごあいさつ	5
ご注意	5
第1章 製品のご紹介	6
1.1 製品概要	6
1.2 各部の名称と機能	11
1.3 メディアのセット方法	13
1.4 USB 2.0 インターフェイスボードの接続	17
第2章 Macintosh 環境の場合	18
2.1 ドライバのインストール	18
2.2 接続と使用について	21
2.3 Macintosh でご使用の際の注意事項	24
第3章 Windows 環境の場合	26
3.1 Windows XP での接続とインストール	26
3.2 Windows Me,2000,98 での接続とインストール	28
3.2.1 接続/インストールの前のご注意	28
3.2.2 接続とインストール	30
3.3 補足事項	34
3.3.1 メディアの取り出しについて	34
3.3.2 本製品を取り外す場合は	37
3.3.3 Windows 2000 で標準ドライバを削除する	39
3.3.4 Windows でご使用の際の注意事項	40
第4章 補足事項	41
4.1 トラブルシューティング	41
ハードウェア仕様	43

取扱い上のご注意



注意

ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。

分解 / 改造しないでください。

故障、火災、感電の原因となります。分解の必要が発生した場合は、販売店にご相談ください。



分解禁止

水気の多い場所での使用 / 保管は行わないでください。

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。



水濡れ禁止

対応メディア以外は装着しないでください。
本書に記載された対応メディア以外は装着しないでください。規格の相違から故障、火災の原因となります。
また、本製品内部にメディア以外の金属片などを挿し込まないでください。



その他の禁止事項

その他：こんなことにも注意してください。

- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・静電気の発生しやすい場所、高温 / 多湿の場所、長時間直射日光にあたる場所での使用 / 保管は避けてください。
- ・温度 / 湿度が急激に変化すると、内部結露により誤動作する場合があります。気温の低いところから高いところに移動した場合は、しばらく放置して周囲の気温と同程度になってからご使用ください。
- ・本製品が汚れた場合は、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形 / 変色の原因となります。

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

付属品の確認

メモリーカードリーダー	1台
USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル	1本
CompactFlash カード用アダプタ (LMC-CFAD)	1個
「LMC-CA84U2 ドライバ」 CD-ROM	1枚
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
メモリーカードリーダー・ユーザーズマニュアル	本書

* Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品は、パソコンのUSB2.0のHigh-Speedに対応したメモリーカードリーダーです。メモリースティック、SmartMediaカード、CompactFlashカード、SDメモリーカード、ハードディスクカード等多くのメディアを使用することができますので、様々なメディアで記録したデータを簡単にパソコンに取り込むことができます。

本製品の特徴

USB 2.0のHigh-Speedに対応していますので、ドライブやメディアのデータ転送スピードを最大限に引き出すことができます。また、従来のUSB 1.1にも対応していますので多くのパソコンで使用することが可能です。

メモリースティック用スロット、SmartMedia用スロット、SDメモリーカード用スロット、TYPE のPCMCIAスロットを装備しています。

メモリースティック、メモリースティックPRO、SmartMediaカード、SDメモリーカード、マルチメディアカード、FLASH-ATAカード、ハードディスクカードはアダプタなしで、本製品に直接セットすることができます。

パソコンのUSBポートに接続するだけの簡単接続です。電源はUSBコネクタから供給されますので、ACアダプタ等の接続は必要ありません。

パソコン本体の電源がONになっている状態で、メディアの抜き差し、および本製品の接続/取り外しが可能です。

ご注意



本製品のPCMCIAスロットはメモリーカード専用です。LANカードやモデムカードのようなI/Oカードを接続して使用することはできません。

使用可能なメディア

本製品では、以下のメディアを使用することができます。

本製品に直接セットできるもの

メモリースティック / メモリースティック PRO

SD メモリーカード / マルチメディアカード

SmartMedia カード (ID 情報付きを含みます。) (*1)

4MB(3.3V) , 8MB(3.3V) , 16MB(3.3V) , 32MB(3.3V) ,
64MB(3.3V) , 128MB(3.3V)

FLASH-ATA カード

PCMCIA 2.1/JEIDA Ver4.2 準拠のカードが使用可能です。
ただし、5V 単一駆動の FLASH-ATA カードを使用することはできません。

ハードディスクカード (*2)

- ・ LPM-HD1G, HD2G, HD5G
- ・ 東芝 モバイルディスク

アダプタが必要なもの

CompactFlash カード

CompactFlash Association に準拠したカードが使用可能です。
本製品付属の CompactFlash カード用アダプタに装着して使用します。

microdrive (*2)

microdrive 用 PC カードアダプタが別途必要です。

- *1 5V 仕様のカード、2MB の SmartMedia はご使用になれません。使用可能な SmartMedia は 4MB ~ 128MB (3.3V 仕様) のものとなります。
- *2 その他のメモリーカードとの同時使用はできません。これらのメモリーカードを使用する場合は必ず他のメモリーカードを取り外しておいてください。



ご注意

- ・本製品のPCMCIAスロットで、5V単一駆動のFLASH-ATAカード、PCカードアダプタを使用することはできません。
 - ・メモリースティックPROとSDメモリーカードとの同時使用はできません。
 - ・メモリースティック、メモリースティックPRO、SDメモリーカードの著作権保護機能(マジックゲート機能)にはアクセスすることはできません。
 - ・メモリースティックPROの高速転送には対応しておりません。
 - ・本製品ではID機能はサポートされていません。ID情報付きのSmartMediaを使用した場合は通常のメディアとして認識されます。
 - ・SmartMediaカードをSmartMedia用PCカードアダプタにセットして本製品のPCMCIAスロットで使用することはできません。本製品のSmartMediaスロットへ直接セットしてください。
 - ・SmartMediaは、フォーマットのクラスタサイズが規格で決められています。これをWindows標準のフォーマッタなどでフォーマットすると、クラスタサイズが変わってしまうことがあります。
 - ・本製品でフォーマットを行うとデジタルカメラ等から認識されなくなる場合があります。各メモリーカードをデジタルカメラ等でも使用される場合は、本製品では絶対にフォーマットを行わないで下さい。
 - ・メモリーカード以外のPCカードは本製品では使用できません。
-

付属 CompactFlash カード用アダプタについて

本製品付属の CompactFlash カード用アダプタを破損 / 紛失等した場合には、以下の型番で用意されていますので、別途ご購入ください。

LMC-CFAD



ご注意

microdrive は CompactFlash カードと形状が似ていますが、厚みが異なるため、本製品付属の CompactFlash カード用アダプタでは接続することができません。専用の PC カードアダプタを別途ご用意ください。

1.2 各部の名称と機能

本製品前面

メモリスティック用スロット

メモリスティック、メモリスティックPROをセットするスロットです。

SDメモリーカード用スロット

SDメモリーカード、マルチメディアカードをセットするスロットです。

SmartMedia用スロット

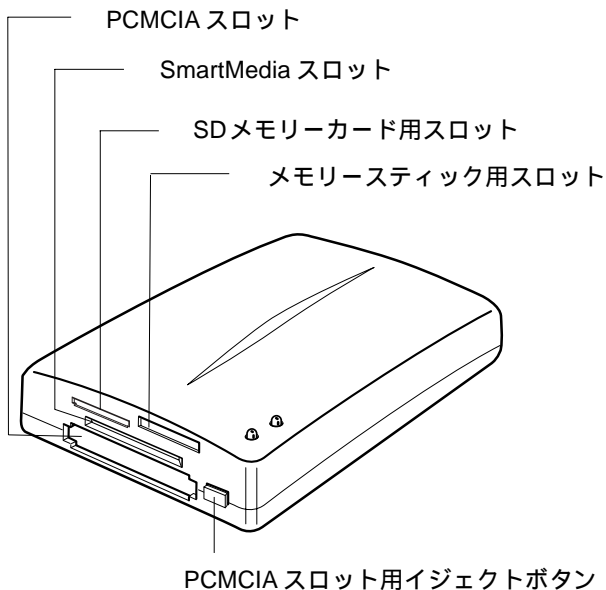
SmartMediaカードをセットするスロットです。

PCMCIAスロット

CompactFlashカードやmicrodrive、ハードディスクカードなどをセットするスロットです。アダプタが必要なカードの場合には、アダプタに装着してセットします。

PCMCIAスロット用イジェクトボタン

PCMCIAスロットにセットされたカードを取り出すためのボタンです。カードがセットされた状態でボタンが飛び出します。取り出す際にボタンを押し込みます。



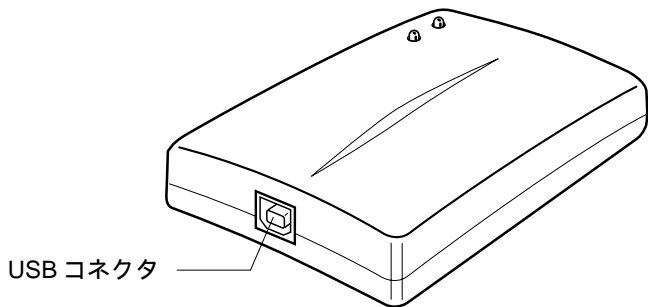
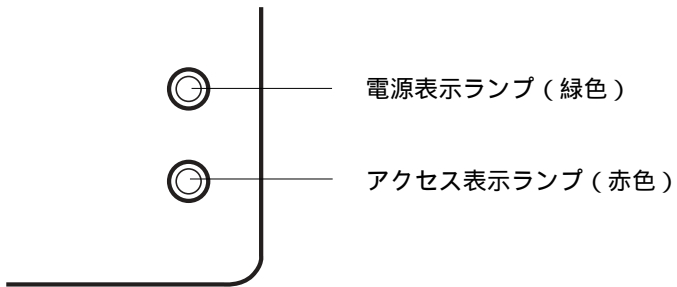
PCMCIAスロット用イジェクトボタン

1.2 各部の名称と機能

本製品天面 電源表示ランプ（緑色）
本製品のUSBケーブルを、動作しているパソコンのUSBコネクタに接続すると「点灯」します。

アクセス表示ランプ（赤色）
本製品用のドライバがインストールされている状態で、メディアに対してアクセスが行われると、「点滅」します。この表示ランプは4つのスロット共用です。

本製品背面 USBコネクタ
付属のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続します。



1.3 メディアのセット方法

ここでは、本製品で使用可能なメディア(代表的なもの)のセット方法と取り出し方法を説明します。

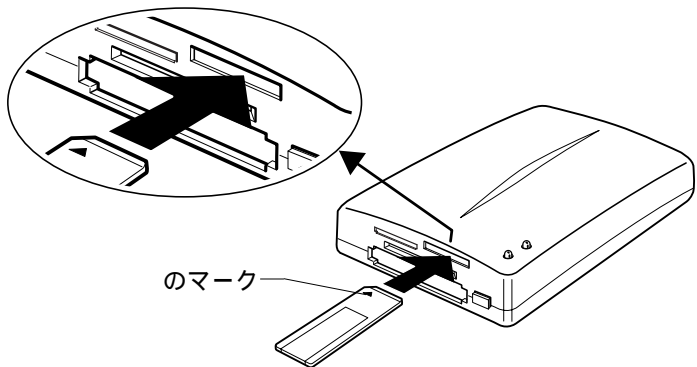


ご注意

本製品がパソコン本体に接続されてる状態でメディアの取り出しを行う場合、いくつか重要な注意事項があります。これらの注意事項は第2章、第3章で使用環境ごとに説明されていますので必ずご参照ください。

メモリースティックのセット方法

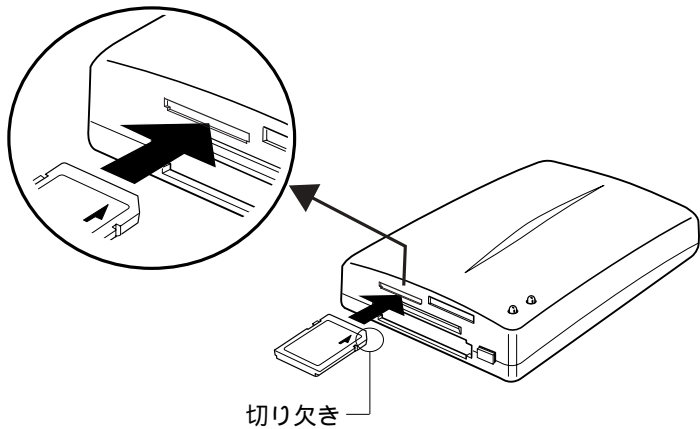
本製品にメモリースティックをセットする場合には、接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにメモリースティックスロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。メモリースティックが数mmほど飛び出した状態になります。



メモリースティックを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、接点には触れないでください。メモリースティック PRO をセットする場合も同様の手順で行ってください。

SDメモリーカードのセット方法

本製品にSDメモリーカードをセットする場合は接点（金メッキが施されている部分）がある面を下にして、下図のようにSDメモリーカードスロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないで下さい。SDメモリーカードが数mm程飛び出した状態になります。

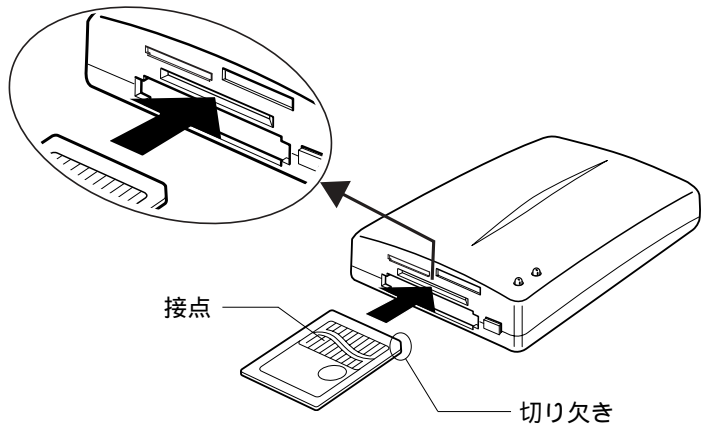


SDメモリーカードを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも接点には触れないで下さい。

マルチメディアカードの場合も同様の手順でセット・取り出しを行います。

SmartMedia カードのセット方法

本製品にSmartMediaカードをセットする場合には、カードの接点（金メッキが施されている部分）側を上にして、カードの切り欠きを奥に向けて、SmartMediaスロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。カードが7mmほど飛び出した状態になります。

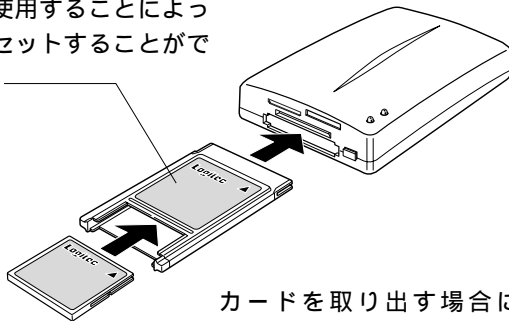


カードを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、カードの接点に触れないように注意してください。

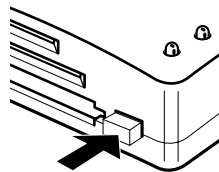
CompactFlash カードのセット方法

本製品に CompactFlash カードをセットする場合には、カードを本製品に付属の CompactFlash カード用アダプタに装着してから、PCMCIA スロットに静かに差し込んでください。カード、アダプタのいずれも、表の面（イラストが記載された面）を上にして装着してください。アダプタを最後まで差し込むと、PCMCIA スロット用イジェクトボタンが 7mm ほど飛び出した状態になります。（正しく装着された状態で、アダプタは本製品の前面から飛び出しません。）

microdrive の場合も、専用のアダプタを使用することによって同様にセットすることができます。



カードを取り出す場合には、PCMCIA スロット用イジェクトボタンを押し込んでください。

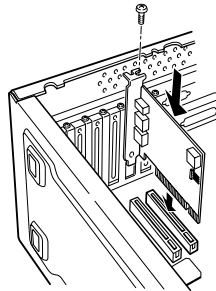


その他の PC Card Standard 準拠の TYPE 仕様のメモリーカード（ハードディスクカード、FLASH-ATA カード）は、直接 PCMCIA スロットにセットします。

1.4 USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード) が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。(本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来の USB 1.1 と同様 Full-Speed (12Mbps) になります。)



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2	PCI	インターフェイスボード単体
LHA-USB2N	PCI	インターフェイスボード単体

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2	CardBus	インターフェースカード単体

LPM-CBUSB2 に本製品を接続する場合、別売りの AC アダプタ (LPM-CBUSB2-AD) を LPM-CBUSB2 の電源コネクタに接続する必要があります。

Dos/V パソコン、PC98-NX シリーズ用

第2章

Macintosh®環境の場合

2.1 ドライバのインストール

(Mac OS 8.6 から 9.2.2 まで)

Point

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 までの環境で本製品を使用する場合には、本製品を接続する前にまず付属のドライバのインストールを行います。インストールは以下の手順で行ってください。



ご注意

Mac OS X 10.1.3 以降の場合は、本製品を接続するだけで自動的に認識され使用可能な状態になります。「2.2 接続と使用についてへお進みください。

1

本製品を接続しない状態で、Mac OS を起動してください。

2

「LMC-CA84U2 ドライバ」ディスクを、CD-ROMドライブにセットしてください。

3

「LMC-CA84U2 ドライバ」のウィンドウが開きますので、「Drivers」フォルダをダブルクリックして開き、「USB Card Reader インストーラ」アイコンをダブルクリックしてください。

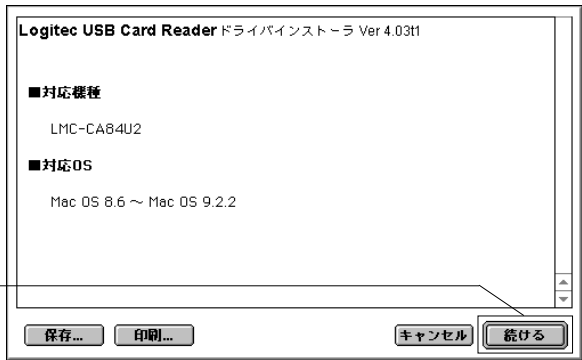
このアイコンをダブルクリック



4

下のウィンドウが表示されます。

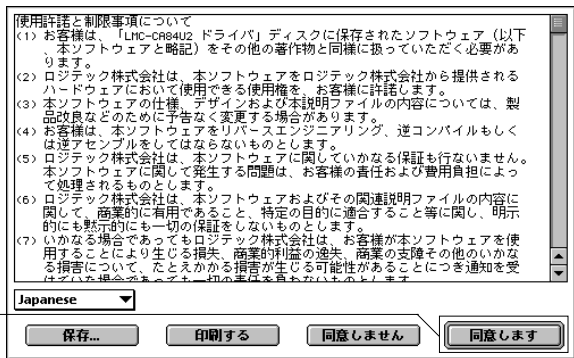
「続ける」をクリック



5

使用許諾と制限事項が表示されます。(ここで「同意しません」をクリックするとインストールが中止されます。)

内容を確認して、同意する
 場合には「同意します」を
 クリック



6

下のウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック

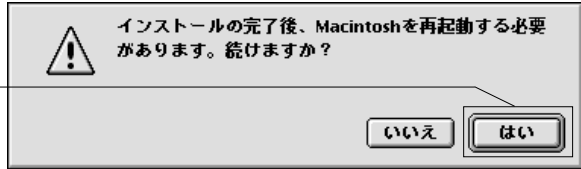


2.1 ドライバのインストール

7

警告メッセージが表示されます。

他にプログラム等が起動していないことを確認したら、「はい」をクリック



8

必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると、右下のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック



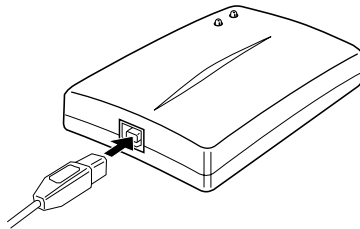
9

システムが再起動されます。再起動が完了したら、ドライバのインストールは終了です。「LMC-CA84U2 ドライバ」ディスクをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。

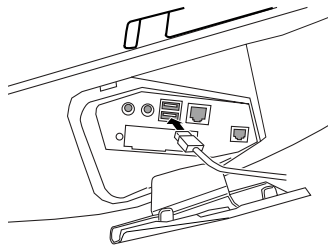
2.2 接続と使用について

接続の手順

次に本製品を接続します。まず、本製品背面のUSBコネクタに、付属のUSBケーブルのシリーズBコネクタ(断面が正方形に近いコネクタ)を接続してください。このコネクタは、正しい方向でしか接続できません。



続いて、付属のUSBケーブルのシリーズAコネクタ(断面が平たいコネクタ)を、パソコン本体のUSBコネクタへ接続してください。USBはホットプラグをサポートしていますので、パソコンの電源がONになっている状態で接続しても構いません。



以上で接続は終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。

Point

ポイント

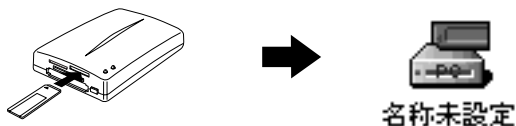
Mac OS Xでは接続後自動的に認識され使用可能な状態になります。

メディアのセットとアクセスについて

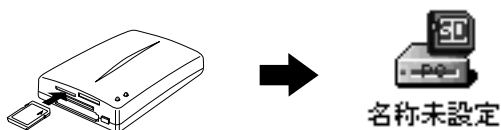
本製品の各スロットにメディアをセットすると、デスクトップ上に右下のようなアイコンが表示されます。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 までの場合

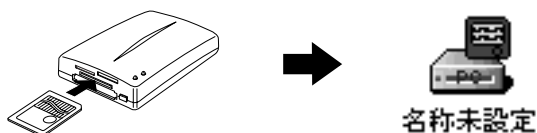
メモリスティックをセットした場合は・・・



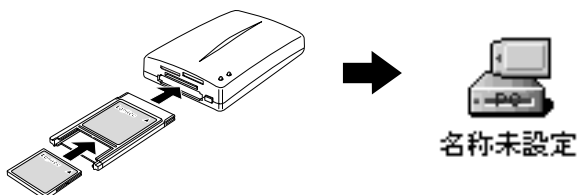
SDメモリーカード、マルチメディアカードを
セットした場合は・・・



SmartMediaカードをセットした場合は・・・



CompactFlashカードやmicrodriveを
PCMCIAスロットにセットした場合は・・・



Mac OS X 10.1.3以降の場合

Mac OS X ではどのメディアをセットしてもデスクトップには以下のアイコンが表示されます。



ここでマウントされたアイコンは、フロッピーディスクのアイコンなどと同じように使用します。例えば、セットしたいメディアにアクセスしたい場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。



ご注意

本製品にはオートイジェクト機能がないため、アイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしても、メディアをイジェクトすることはできません。(ただし、この操作はメディアを取り出すときに必要です。以下をご参照ください。)



メディアを取り出す場合は

本製品にセットしたメディアを取り出したい場合には、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・ デスクトップ上のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。(Mac OS Xの場合は「ファイル」メニューの「取り出し」を選択)
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル + E」キーを入力する。

2.2 接続と使用について

いずれの方法でアンマウントした場合も、「メディアを取り外します」とダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてから、メディアを取り出してください。（Mac OS X ではこのメッセージは表示されません。アンマウント操作後数秒たってからメディアを取り外してください。）

本製品を取り外す場合は

本製品はUSBインターフェースを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONになっている状態での取り外し）が可能です。ただし、以下の点にはご注意ください。

本製品を取り外す場合は、必ずすべてのメディアをアンマウントして、本製品から取り出しておいてください。

2.3 Macintosh でご使用の際の注意事項

スリープ設定について

本製品はスリープには対応していません。以下の手順でスリープ設定を「しない」にして本製品をご使用ください。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の場合

「アップル」メニューから「コントロールパネル」「省エネルギー設定」をクリック。

「省エネルギー設定」ウィンドウで「スリープ設定」タブが選択されていることを確認。

「スリープ設定までの非動作時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

Mac OS X 10.1.3 以降の場合

「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリック。

「システム環境設定」ウィンドウの一覧の中から「省エネルギー」をクリック。

「省エネルギー」ウィンドウで「スリープ」タブが選択されていることを確認。

「スリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットを Mac OS 上で行いたい場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用します。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

ハードディスクカード、microdrive の使用について

その他のメモリカードと一緒にハードディスクカード、microdrive を使用することはできません。ハードディスクカード、マイクロドライブのみを本製品にセットしてご使用ください。

メモリカードをセットした状態での Mac OS の起動について

本製品にメモリカードをセットした状態で、Mac OS を起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。Mac OS の起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

キーボード上の USB ポートへの接続について

本製品をキーボード上の USB ポートに接続して使用することはできません。

第3章

Windows® 環境の場合

3.1 Windows XP での接続とインストール

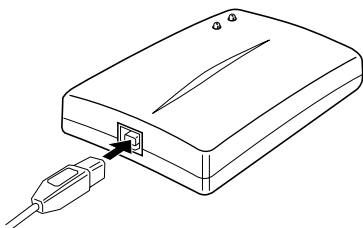
Windows XP には、本製品を認識可能なドライバが標準添付されていますので、本製品を接続すると自動的にドライバがインストールされます。接続は以下の手順で行ってください。

1

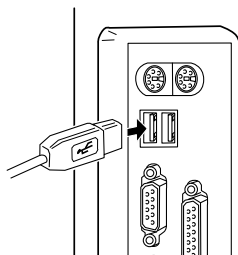
本製品を接続していない状態で、WindowsXP のシステムを起動して、コンピュータの管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）としてログオンしてください。

2

システムが起動したら本製品をパソコン本体に接続します。付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタとパソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

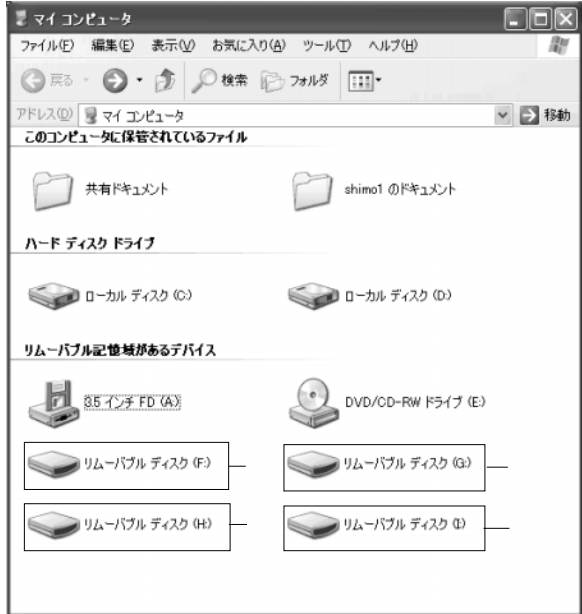
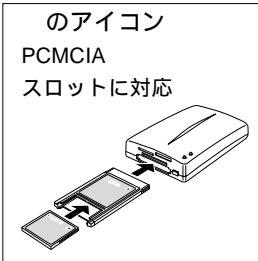
3

自動的にドライバがインストールされ本製品が使用できる状態になります。

4

最後に接続/インストールの結果を確認します。「スタート」メニューから「マイコンピュータをダブルクリックして開いてください。

以下のように新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが4つ追加されていたら、接続およびインストールは正常に完了しています。



メディアをセットして対応する「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックするとセットしたメディアにアクセスすることができます。

Point

ポイント

「リムーバブルディスク」のドライブ名(「F:」、「G:」、「H:」、「I:」などと表示された部分)は環境によって異なります。

3 . 2 Windows Me,2000,98 での接続とインストール

本節では Windows Me , 2000 , 98 環境で本製品付属の「LMC-CA84U2 ドライバ」ディスクから、本製品を使用するためのドライバをインストールして、接続する方法についてご説明いたします。

3 . 2 . 1 接続 / インストールの前のご注意

Windows Me をご使用の場合

本製品を認識可能なドライバが標準添付されていますので、接続するだけで使用することも可能です。ただし、その場合、表示されるアイコンや取り外し方法が、本製品付属のドライバを使用した場合と異なります。詳しくは「LMC-CA84U2 ドライバ」CD-ROM の以下の場所をご参照ください。

¥drivers¥winme.htm

Windows 2000 をご使用の場合

本製品を Windows 2000 環境で使用する場合、ServicePack のバージョンによりインストール方法が以下ようになります。

Service Pack 2 までの環境の場合

本製品を接続するだけで標準のドライバがインストールされ自動的に認識されますが、その場合 PCMCIA スロットしか認識されません。必ず接続の前に付属のドライバをインストールしてご使用ください。

一度標準のドライバがインストールされますとそのドライバを削除しなければ本製品付属のドライバをインストールすることができなくなりますのでご注意ください。間違っ標準ドライバをインストールしてしまった場合は、「3 . 3 . 3 Windows 2000 で標準ドライバを削除する」をご参照ください。

Service Pack 3 環境の場合

Windows 2000 Service Pack 3 には、本製品を認識可能なドライバが標準添付されていますので、OS標準ドライバでの動作が可能です。その場合、「マイコンピュータ」上には通常のリムーバブルディスクのアイコンが4つ登録されます(下図参照)。また、標準ドライバで認識された場合、取り外しの際のメッセージが「USB 大容量記憶装置デバイス」となります。(取り外しの手順は「3.3.2 本製品を取り外す場合は」をご参照ください。)



このアイコンが4つ登録されます。

リムーバブルディスクはドライブ名が若い順に

- ・PCMCIA スロット
- ・SD メモリーカードスロット
- ・SmartMedia スロット
- ・メモリースティックスロット

の順で割り当てられます。

また、付属のドライバをインストールすることにより、「マイコンピュータ」上の「リムーバブルディスク」のアイコンが専用アイコンとして追加されます(下図参照)。



各スロットに対応した専用のアイコンが登録されます。

ただし、一度標準のドライバがインストールされますと、そのドライバを削除しなければ本製品付属のドライバをインストールすることができなくなりますので、「3.3.3 Windows 2000 で標準ドライバを削除する」をご参照のうえ、標準ドライバの削除を行ってから本製品付属のドライバのインストールを行ってください。

3.2.2 接続とインストール

1

本製品を接続していない状態で、Windows のシステムを起動してください。

Point

ポイント

ここで Windows 2000 をご使用の場合は、管理者権限を持つグループ（例えば Administrators グループ）のメンバーとしてログオンしてください。

2

「LMC-CA84U2 ドライバ」ディスクを、CD-ROM ドライブにセットしてください。

3

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャー（以下のウィンドウ）が起動します。

Point

ポイント

自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。



4

セットアップランチャーからドライバのインストーラを起動します。

1. 「LMC-CA84U2 ドライバ」と書かれたアイコンを1回クリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」をクリック



5

インストーラが起動し、以下のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



3.2 Windows Me,2000,98 での接続とインストール

3.2.2 接続とインストール

6

必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。

1. 「はい、今すぐコンピュータを・・・」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、

2. 「完了」ボタンをクリック

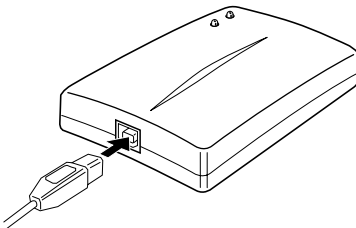


7

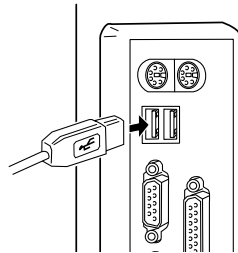
システムが再起動されます。再起動後に、「LMC-CA84U2 ドライバ」ディスクを CD-ROM ドライブから取り出しておいてください。

8

次に本製品をパソコン本体に接続します。付属のUSBケーブルで本製品のUSB シリーズ B コネクタとパソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

9

本製品が自動的に認識され使用できる状態になります。以上で接続とインストールは終了です。

9

最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。以下のように新しいアイコンが4個登録されていたら、接続およびインストールは正常に完了しています。



追加されたドライブアイコンは、それぞれ以下のスロットに対応します。



メモリースティックスロット



SmartMedia スロット



SD メモリーカードスロット



PCMCIA スロット

各メディアをセットして、対応するアイコンをダブルクリックすると、セットしたメディアにアクセスすることができます。

Point

ポイント

アイコンの下のドライブ名(「F:」, 「G:」, 「H:」, 「I:」など)と表示された部分)は環境によって異なります。

3.3 補足事項

3.3.1 メディアの取り出しについて

本製品にセットしたメディアを取り出す場合は、以下のような点にご注意ください。

取り出す前に、メディアに保存されたデータファイルなどが開かれていないことを確認してください。

取り出す前に、アクセス表示ランプが「点滅」していないことを確認してください。

パソコン本体がスリープ状態にあるときは、メディアの取り出しは行わないでください。

Windows XP,2000 の場合は、一定の手順で取り出しを行う必要があります。手順については、以下の「Windows XPでの取り出し手順」「Windows 2000での取り出し手順」をそれぞれご参照ください。

Windows XP での取り出し手順

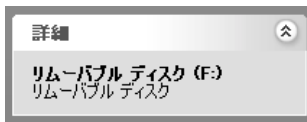
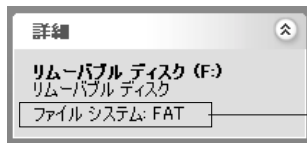
まず最初に、メディアに保存されているデータファイルなどが開かれていないか、本製品のアクセス表示ランプが点滅していないかなど、上記の注意事項に問題がないことを確認してください。

「マイコンピュータ」を開いて、取り出すメディアの入ったスロットに対応する「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックしてください。

表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。



「取り出し」をクリックした後、「詳細」ウィンドウの表示が以下のように変化することを確認してください。



手でメディアをスロットから取り出してください。

3.3 補足事項

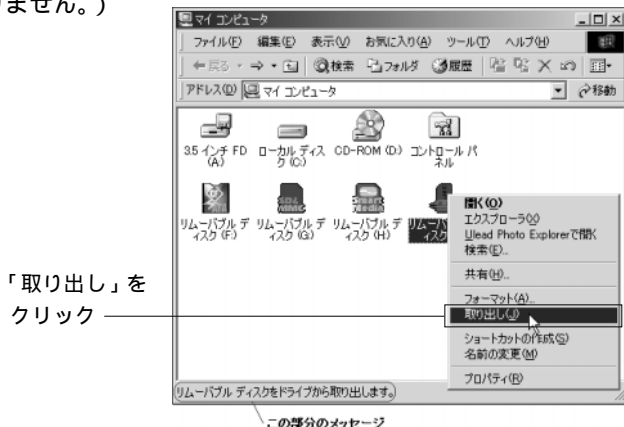
3.3.1 メディアの取り出しについて

Windows 2000 での取り出し手順

まず最初に、メディアに保存されているデータファイルなどが開かれていないか、本製品のアクセス表示ランプが点滅していないかなど、上記の注意事項に問題がないことを確認してください。

「マイコンピュータ」を開いて、取り出すメディアの入ったスロットに対応する「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックしてください。

表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。クリックした後、「リムーバブルディスクをドライブから取り出します。」のメッセージが消えるまでお待ちください。（このメッセージが表示されている間は、取り出し作業は完了しておりません。）



確認後、手でメディアをスロットから取り出してください。



ご注意

メニューから「取り出し」を選択する部分は、一見無駄なようですが、ライトキャッシュをクリアするために必要です。これを行わないで取り外すと、データが失われる場合がありますので、必ず上記の手順で取り出してください。

3.3.2 本製品を取り外す場合は

本製品はUSBインターフェースを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONになっている状態での取り外し）が可能です。ただし、以下のような点にご注意ください。

本製品を取り外す前に、すべてのメディアを正しい手順で取り出しておいてください。

パソコン本体がスリープ状態にあるときは、本製品の取り外しは行わないでください。

Windows XP, 2000の場合は、一定の手順で取り外しを行う必要があります。手順については、下の「Windows XP, 2000での取り外し手順」をご参照ください。

Windows Me標準ドライバで本製品を使用している場合も、一定の手順で取り外しを行う必要があります。この手順については「LMC-CA84U2ドライバ」CD-ROMの以下の場所をご参照ください。

¥drivers¥winme.htm

Windows XP, 2000での取り外し手順

本製品にメディアがセットされていないことなど、前述の注意事項に問題ないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックしてください。

Windows XP で表示される
アイコン



Windows 2000 で表示される
アイコン



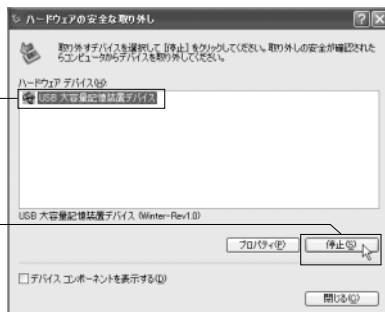
このアイコンをダブルクリック

3.3 補足事項

3.3.2 本製品を取り外す場合は

Windows XP では「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウが表示されます。

1. 「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリック



2. 「停止」をクリック

Windows 2000 では「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが表示されます。

1. 「Logitech LMC-CA84U2 Device Driver」をクリック



2. 「停止」をクリック

「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows XP では「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウに戻りますので「閉じる」ボタンをクリックしてから、本製品を取り外してください。

Windows 2000 では「ハードウェアの取り外し」ウィンドウに戻りますので「閉じる」ボタンをクリックしてから、本製品を取り外してください。

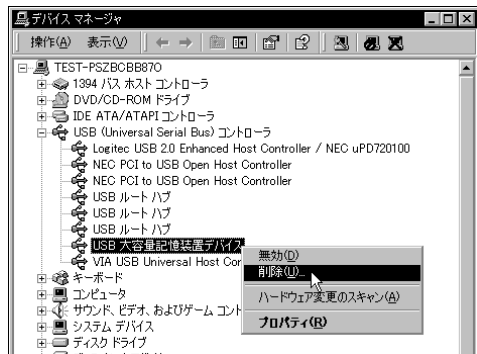
以上で本製品の取り外し作業は終了です。

3.3.3 Windows 2000 で標準ドライバを削除する

Windows 2000で本製品のドライバをインストールせずに接続してしまった場合、自動的に標準ドライバがインストールされてしまいます。この場合以下の手順で標準ドライバの削除を行ってください。

「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックして「デバイスマネージャ」ウィンドウを表示させます。

「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB 大容量記憶装置デバイス」を右クリックして表示されるプルダウンメニューから「削除」をクリックします。



「USB 大容量記憶装置デバイス」が削除されたのを確認後、クローズボックスをクリックして「デバイスマネージャ」を閉じ、本製品を取り外します。

以上で標準ドライバの削除作業は終了です。この後は「3.2 Windows Me,2000,98 での接続とインストール」へ戻り、本製品付属の「LMC-CA84U2 ドライバ」ディスクより本製品のドライバのインストールを行ってください。

3.3.4 Windows でご使用の際の注意事項

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットをWindows上で行いたい場合は、「リムーバブルディスク」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

ハードディスクカード、microdrive の使用について

その他のメモリカードと一緒にハードディスクカード、microdriveを使用することはできません。ハードディスクカード、マイクロドライブのみを本製品にセットしてご使用ください。

メモリカードをセットした状態でのWindowsの起動について

本製品にメモリカードをセットした状態で、Windowsを起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。Windowsの起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

本製品を別のUSBポートに接続して試してください。

本製品をUSBハブ経由で接続している場合は、パソコンのUSBポートに直接接続して試してみてください。

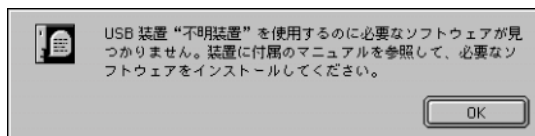
Windows環境でメディアをセットして「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックしたら、「デバイスの準備ができていません」というエラーが発生した。

メモリーカードをセットしたままWindowsを起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリーカードを取り外してWindowsを再起動してみてください。

間違ったアイコンをダブルクリックしていないかを確認してください。

メディアを一度取り出して、接点にゴミなどが付着していないかどうかを確認してください。問題ない場合は、しっかりとセットして、もう一度試してみてください。

Macintoshシリーズで本製品を接続すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第2章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

4.1 トラブルシューティング

Macintosh シリーズで本製品のアイコンがデスクトップにマウントされなくなりました。

メモリーカードをセットしたまま Mac OS を起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリーカードを取り外して OS を再起動してみてください。

特定のメディアをアクセスできない。

そのメディアをフォーマットしたデジタルカメラ等にメディアを戻して、そのメディアが認識できるかどうかを確認してください。これで認識できない場合は、そのメディアはフォーマットが壊れています。デジタルカメラなどで再フォーマットを行ってください。

特定のメディアに書き込みだけができない。

メモリースティック、SDメモリーカードや SmartMedia には、ライトプロテクト(書き込み禁止)の機能があります。書き込みが禁止されていないかどうかを確認してください。

本製品でフォーマットしたメディアをデジタルカメラにセットしたが認識されない。

デジタルカメラでは基本的なフォーマットはパソコンと同じでも、特定のボリュームラベルやフォルダがないと認識されない場合があります。もっとも確実な方法は、そのデジタルカメラで再フォーマットを行うことです。(再フォーマットを行うと、そのメディアに保存されたデータは失われますので必要に応じてバックアップを行ってください。)

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF 形式でダウンロード可能になっていますのでご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

製品型番		LMC- CA84U2	
搭載スロット		メモリスティック × 1 SDメモリーカード × 1 SmartMedia × 1 PCMCIA (TYPE) × 1	
使用可能カード		メモリスティック SDメモリーカード マルチメディアカード SmartMedia CompactFlash microdrive *1 *2 Flash-ATA カード ハードディスクカード *2	
最大データ転送速度 *3		480 Mbps (High-Speed) 12Mbps (FULL-Speed)	
コネクタ形状		USB シリーズ B	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
消費電流		5V 500 mA (Max)	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		98 × 24 × 122 mm *5	
質量		約 153 g	

*1 microdrive専用PCカードアダプタ
が別途必要です

*2 その他のメモリーカードとの同時
使用はできません

*3 理論値

*4 ただし結露なきこと

*5 突起部を除く

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

LMC-CA84U2 V06



<http://www.logitec.co.jp/>